

見てみよう! 仙台市の消防



24時間、市民の暮らしと安全を守る



仙台市消防局



災害がおきました！消防署はどう対応するの？



火事ですか？
救急ですか？

ここはコンピュータで災害の情報を管理する消防情報センターです。119番通報も、まずここで受け付けられます。ここから、それぞれの消防署や分署、出張所へ消防車や救急車の出場を指令します。消防情報センターには、119番通報のほか、地震・気象情報など、いろいろな情報が集まります。

火事です！



火災の通報が入ると、ただちに消防隊が出場します。水を積んだポンプ車などいろいろな消防車が、現場へ急行します。

救急です！



ケガ人や急病人の通報が入ると、ただちに救急隊が出場します。救急車には、救急救命士の資格を持った隊員も乗っていて、応急手当をしながら病院に搬送します。

レスキューです！



火事や交通事故で閉じこめられた人の通報が入ると救助（レスキュー）隊が出場します。救助工作車には救出・救助のためのいろいろな資機材が積まれています。

仙台市にはいろいろな場所に消防署があります。みんなのおうちの近くにある消防署はどこかな？



仙台市の消防署・分署・出張所位置図



災害がないときも、 いろいろなところで活動しています。

火事や救急・台風・大雨、消防職員はいろいろな災害にそなえて、みんなの身近な場所で働いています。さあ、どんな仕事をしているかのぞいてみよう！



火災現場で部屋の中に閉じこめられた人を救出する訓練をしています。



川や沼でおぼれた人を助ける訓練をしています。



デパートやホテル、病院などの建物に消防用設備等がきちんと取り付けられているか確認しています。

ガソリンスタンドやタンクローリーなどの、危険なものを取り扱う施設をチェックしています。



山火事にそなえて、訓練をしています。



台風や大雨にそなえて、訓練をしています。地域の消防団と協力して水害からまちを守ります。



防災訓練で、消火器の使い方を教えています。



身近な人の命を救うため、みなさんに応急手当の方法を教えています。



山でけがをしたり、具合がわるくなった人を助ける訓練をしています。



一度に多くのけが人がでたときにそなえて、訓練をしています。

いざという時のために普段から準備しているよ。いろいろな役割の人が協力して地震、火事、台風などからみんなの暮らしを守っているんだ。



雪の日だって火事は起きます。消火栓がすぐに使えるようにみんなで雪かきをしています。

イザというときのために、日頃からの「備え」が大切です！

普段からお年寄りや体の不自由な人など困っている人をみんな で支えましょう。いざという時にもみんな で助け合いましょう。

大震災の教訓を生かしましょう！



平成23年3月11日、東日本大震災が発生しました。この震災により仙台市内では、なくなった方、ゆくえ不明の方があわせて900人以上、けがなどをした方が2,000人以上おりました。余震はまだ続いていて、また大きな地震が発生してもおかしくありません。

東日本大震災は私たちにいろいろな教訓を残しました。

この大震災の経験を忘れることなく、今後の防災・減災につなげていきましょう。

家庭でできること

ご自宅や家の周りの安全の確認

- 家具や家電製品などの転倒防止対策を行いましょう。
- 棚や家具の上から重いものが落ちてこないようにしましょう。
- 食器棚などの扉が開かないように、飛び出し防止器具を取り付けましょう。



家庭内での食料・水等の備え

- 食料品や飲料水（1人1日3リットル）は家族構成（高齢者や乳幼児に配慮）にあわせて、1週間程度の備蓄をましよう。
- 非常持ち出し袋を準備し、すぐに取り出せるようにしておきましよう。
- 常備薬、服用中の薬、「お薬手帳」を備えておきましよう。
- 平時から自動車等へこまめに給油をましよう。



家族の安否確認の方法等

- 家族で非常時の連絡方法を話し合っておきましよう。
- 「災害用伝言ダイヤル171」、「災害用伝言板」等の利用方法を確認しておきましよう。
- 地震や津波から身を守るため、避難場所や安全な避難経路を確認しておきましよう。

地域での備えや助け合い

- 普段から近所同士で声を掛け合い、顔の見える関係をつくりましよう。
- 町内会や自主防災組織の防災訓練などに参加しましよう。
- 高齢者や障がい者など災害時に手助けの必要な方々が、ご近所に居住しているか把握しておきましよう。



「地域」でできること

地域の防災訓練に参加しよう！



避難場所の確認、応急手当の方法など、内容はさまざま。家族でどんどん参加しよう。

夏休みイベントもチェック！



夏休みは防災訓練を受ける絶好のチャンス。どんなイベントがあるかチェックしてね。

その他こんなこと知ってる？

インターネットやスマートフォンで学べる応急手当

仙台市では、好きな時間にパソコンなどで応急手当が学べるようにホームページ「応急手当WEB講習」を公開しています。また、いつでもどこでも気軽に応急手当が学べるスマートフォン用アプリケーション「救命ナビ」も配信しています。救命ナビには119番通報から心肺蘇生法までの流れを分かりやすくナビゲート（道案内）してくれる機能もありますので、是非スマートフォンにダウンロードしてみてください。【紹介ホームページ <http://www.sendai119.jp/>】



応急手当WEB講習

仙台応急手当

検索



救命ナビ



App Store



Google play

救命ナビ

検索

入ってる？「杜の都防災メール」

仙台市では、災害発生情報や避難情報、防災気象情報等の災害に関する情報を「杜の都防災メール」でお知らせしています。また、災害に関する情報をパソコンのホームページや携帯電話でも見ることができます。

登録方法

○検索サイトのトップページから「杜の都防災メール」と検索

○QRコード対応の方は
こちら



地域を守る「消防団」

消防団はその地域に住んでいる人たちがみんな で自分たちの町を守っています。普段は自分の仕事をしていますが、災害のときは消防署の人と協力して活動します。



もしものときの119番

通報する場合のポイントは「あわてず」「ゆっくり」「はっきりと」
次のことをおしえてください。

- ① 「火事」ですか？「救急」ですか？
- ② 住所はどこ（区・町・丁目・番地・号）ですか？
※屋外などで住所がわからない場合には、近くにお住まいの方に聞いたり、交差点やお店の名前などの目印をできるだけくわしくおしえてください。
- ③ だれが（何が）どうしましたか？
※どのような状況なのかをおしえてください。（何かもえているのか、だれがケガをしているのかなど。）
- ④ あなたのお名前、電話番号をおしえてください
※通報後に消防局から問い合わせをすることがあります。
※救急車などの緊急車両は早く・安全に現場へ到着するため、サイレンを鳴らして走行しますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

119番は問い合わせの電話ではありません。

119番は火事・救急・救助の緊急通報専用です。

「夜間、休日にみてる病院はどこ？」「どこで火事があったの？」などといった問い合わせの電話ではありません。次の問い合わせ先に電話してください。

○ 「夜間、休日にみてる病院はどこ？」

初期救急医療機関案内：(022) 234-5099

（平日：19時から翌日7時、土曜：14時から翌日7時、日曜・祝日：9時から翌日7時）

休日テレホンサービス：(022) 223-6161

（日曜・祝日：9時～16時）

※市政だより、仙台市HP内「休日当番医」でもお知らせしています。

○ 「どこで火事があったの？」

災害案内ダイヤル（24時間自動音声）：(022) 234-0119

※「杜の都防災Web」でもお知らせしています。

もっと仙台市の消防のことが知りたいときはここをチェック！

仙台市HP 消防ページ

🔍 仙台市消防

検索



仙台市消防局 Facebook

イベント・活動情報等をお知らせします。



いいね！